



税金について学ぶ
税に関する絵はがきコンクール



「税に関する絵はがきコンクール」は、税金が私たちの暮らしにどのように役立っているのか、税の意義や役割などを理解し、その必要性や使い道を考えてもらうため、小学生を対象に毎年実施されています。今年は大東税務署管内から429点の応募があり、町内から11人の皆さんが表彰を受けました。受賞者は次のとおりです。作品は町ホームページに掲載しています。

【受賞者】

- ・公益社団法人 雲南法人会 会長賞
石田 莉奈さん(赤名小6年)
- ・雲南地区納税貯蓄組合 連合会 会長賞
黒田 格以さん(志々小6年)
- ・飯南町長賞
山田 夏穂さん(来島小6年)
- ・飯南町教育長賞
芥川 琴子さん(頓原小6年)
- ・飯南町青色申告会長賞
市山 結優さん(頓原小6年)
- ・公益社団法人 雲南法人会 飯南支部長賞
吉川 彩愛さん(頓原小6年)
- ・入選 松元 咲麗さん(頓原小6年)



雲南法人会 会長賞 石田莉奈さん



雲南地区納税貯蓄組合連合会 会長賞 黒田格以さん

- ・入選 藤原 柑南さん(志々小6年)
- ・入選 吉川 嗣道さん(赤名小6年)
- ・入選 中岡 歩実さん(赤名小6年)
- ・入選 渡部 美嶺さん(来島小6年)

令和5年度秋の叙勲
加藤敏光さんが瑞宝双光章を受賞



加藤敏光さん(上来島)が「秋の叙勲」を受賞されました。加藤さんは、昭和43年から平成22年までの42年間、大阪府警察に勤務。住民の安心安全な生活を守るとともに、自らも無事故で業務に従事し、「危険業務従事者叙勲」を受賞されました。加藤さんは「受賞できたことは大変うれしく思います。今回の受賞は周りの皆さまのご指導・ご支援の賜物です。深く感謝しています」と話していました。

令和5年度秋の叙勲
下宮常男さんが瑞宝単光章を受賞



下宮常男さん(下来島)が「秋の叙勲」を受賞されました。下宮さんは、昭和48年から平成24年までの約40年間、来島配達センターなど町内郵便局に勤務。長きに渡る郵政業務の功績により受賞されました。下宮さんは「この度の受賞、大変うれしく思います。長きに渡り勤務することができたのも、地域の皆さまの支えがあったからこそです。ありがとうございます」と話していました。



文部科学大臣表彰
本間美智子さんが受賞

本間美智子さん(花栗)が文部科学省文化庁の「令和5年度地域文化功労者表彰」を受賞されました。この賞は、全国各地における地域文化の振興に功績を挙げられた方が対象。本間さんは、書家として優れた活動を行うとともに、島根県書道教育連盟教授等を務め、地域文化の振興に貢献したことが評価されました。本間さんは「60年書道を続けてきたことが認められ、光栄です。今後も地域文化の振興や人材育成に貢献したい」と話していました。



京都府で行われた表彰式に出席されました



島根県消防表彰
飯南町消防団が受賞

飯南町消防団(澤田秀樹団長)が島根県消防表彰を受賞し、丸山知事から、表彰状と表彰旗が授与されました。

この賞は、消防吏員、消防団員、消防機関などが対象。飯南町消防団は、災害の防除や消防力の強化に努めた功績が顕著であると認められました。澤田団長は「今後、団員の資質や防災意識の向上を図るとともに、女性消防団の活動にも取り組みたい」と話していました。



代表して、澤田団長(右から2人目)が表彰式に出席



高齢者とのふれあいで学ぶ
小学生と高齢者の交流学習



「子どもたちの交流で元気がもたらえた」との声が聞かれました

とんぼら交流センターで、頓原小学校の児童が町内の高齢者と交流しました。この交流は、同小学校と飯南町社会福祉協議会が協働して実施する福祉教育の一環。6人の高齢者と3年生11人が交流しました。児童は、高齢者の「元気の秘訣」や「普段の生活」などの話を聞いたり、質問をしたりして、互いの理解を深めました。同小学校では、3年生から5年生が福祉教育に取り組み、高齢者や障がい者への理解を深め、共に生きる社会を目指し学習しています。



島根県功労者表彰
石川康弘さんが受賞

石川康弘さん(町区)が「島根県功労者表彰」を受賞されました。

石川さんは現在、飯南町商工会会長のを務められています。今回の受賞は、多年に渡り商工業者の育成に努め、地域経済の振興に寄与したことが評価されたものです。

石川さんは「大変光栄に思います。私自身の頑張りではなく、会社や商工会の職員、会員の皆さまのおかげです。ありがとうございます」と話していました。



大東税務署から納税に対する感謝状も授与されました